

平成23年度
商店街通行量調査
結果報告書

平成24年6月
熊本市・熊本商工会議所

はじめに

我が国の経済情勢は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから持ち直しつつも、欧州金融危機による円高や世界経済の減速等により、景気の回復傾向が鈍化するなど先行き不透明な状況にあり、地域経済や中小企業も依然として厳しい状況に置かれています。

このような中、商店街においても、長引くデフレ傾向や郊外型大型店・ネット販売等との競合による小売業全体の競争の激化、店主の高齢化や人材不足など、様々な問題に直面している状況にあります。

他方、本市では、昨年3月の九州新幹線全線開業、開業に伴う観光交流拠点の整備、本年4月の政令指定都市移行など、都市環境の大きな転換期を迎え、商店街を取り巻く環境も観光・ビジネス客等の交流人口の増加により変わりつつあるなか、商店街が本来持つ多様な商業集積地・消費地としての機能とともに、住民の交流拠点・憩いの場、地域伝統継承の場としての機能など、地域コミュニティの核としての商店街が担う役割と重要性が改めて見直されており、商店街の活性化を図るための多角的な支援が求められています。

本調査は、市内主要商業地の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に資することを目的に、昭和43年から実施しているものです。

本年度は、調査時期を従前の8月から10月に移行して、10月28日（金）・11月13日（日）に市内36地点において調査を実施しました。

その調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたしますとともに、本調査にご協力いただきました商店街並びに関係者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

平成24年6月

熊本市

熊本商工会議所

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	2 P
2. 実施期間	2 P
3. 調査日時	2 P
4. 調査対象	2 P
5. 調査方法	2 P
6. 調査地点	3 P
7. 平成 22 年度調査からの変更点一覧	4 P
8. 平成 23 年度調査地点一覧	5 P
9. 調査地点図	6 P

II 調査結果

1. 調査結果の概要	7 P
(1) 調査結果の取扱い（前提）	7 P
(2) 調査日の天候	7 P
(3) 前回調査以降の主な動き	8 P
(4) 全体の通行量	8 P
(5) 中心商店街の通行量	9 P
(6) 熊本駅・地域商店街の通行量	10 P
(7) 調査結果から推察される要因	11 P
2. 地区別概要	12 P
(1) 中心商店街の地区別概要	12 P
(2) 熊本駅・地域商店街の地区別概要	14 P
(3) 通行量上位地点ランキング	18 P
3. 各地点の調査結果と平成 22 年度調査結果との参考比較	19 P
4. 進行方向別通行人数	20 P
5. 過去の調査結果一覧	22 P
6. 各調査地点の通行量の詳細	28 P